

3つの”i”を身につけて
世界の幸せに貢献できる女性になりませんか？



2019年4月 横浜に開校

▶ 世界標準の授業

週7時間の授業のうち4時間はLanguage Artsの時間に充てます。英語圏の国語の授業を、本校でも受講でき、英語力の保持に努めます。

▶ 放課後Follow

分からないことはその日のうちに解消しましょう。教員だけでなく、チューターもいるから、Followが可能です。

▶ 知の理論/Philosophy

週7時間の授業のうち2時間を世界が認めた知の理論「philosophy」に充て、思考力・創造力を養います。英語力の発展に努めます。

▶ 国内・海外大学進学指導

大学進学を可能にする進学指導を早い段階からスタートします。ゴールが見えるから、準備がしっかりとできます。

帰国生入試

2020年度入試(11月実施予定)

全世界入試

- ・試験地：全世界
- ・試験科目：書類選考
Skype面接

国内入試

- ・試験地：本校
- ・試験科目：小論文(英or日)
面接



「三つのi」持つ女性に
創立110年を迎えた高木学園女子高校横浜は来春「英理女子学院」として生まれ変わる。従来の教育を受け継ぎ「キャリア部」と、新設の「iグローバル部」の2コース制。iグローバル部はグローバルコミュニケーション、高い教養、ICT&理数リテラシーを三つの「i」と名付け、これらを学ぶ新しい教育の場としてスタートを切る。
校舎はIoTに対応し、自分でプログラミングして開閉するロッカーなど、ハイスペックな設備を備える。校長に就任する山崎達雄氏は言う。
「三つのiはこれからの時代、女性に必要な能力。しっかりと身につけ、社会で活躍できる女性を育てたい」
全員に配られるタブレットで900冊の洋書を多読・多聴したり、オンラインで英会話のレッスンを受けたりと、英語教育を充実させる。さらに1年でプ



ログラミングの基礎を学び、Webサイトの開設やアプリの制作、ロボットのプログラミングにもチャレンジする。
高木院理事長は09年、急逝した父親の後を継いで理事長に就任した。大手自動車会社や外資系化粧品会社に勤務した経験や海外留学経験を生かし、教育環境を充実させた。
「高木学園を創立したのは曾祖母。今の時代に生きていたらなら、こんな学校にするだろうという学校を作りたい」
AERA 7月16日号

ただならぬGO
私立高に熱視線
授業料「無償化」で注目の高校単独私立校
東京都などの自治体が進める私立高校授業料の無償化政策。公立高校の志願者急減など、高校受験戦線に異変を生んでいる。

iグローバル部では国連が提唱する17の課題SDGsに取り組みます。高校2年次の修学旅行で訪れるサンフランシスコのスタンフォード大学で全員がその成果を発表します。またサンフランシスコの街を散策したり、日本で見ることができない大自然や地球環境についてヨセミテ国立公園で学びます。

最新の校舎で新入生を迎えます



グループ学習時に机移動がしやすいように明らさと解放感あふれる昇降口。登校後初めに立ち寄るため、前向きな気持ちになれる環境づくりにこだわりました。



まるで芝生の上で過ごしているような気持ちになれるホールは、創造力が育まれる場所を目指しています。
3Dプリンターや3Dスキャナー、レーザーカッター等考えを形にするための高性能機材が多数そろっています。

各種メディアでも報道されています

高木学園が新校舎整備
情報技術第一人者の坂村さん監修
3Dスキャンなど最新備えた「メイカーズハブ」で、設計理念を語る坂村氏。(左)

※10/16毎日新聞

AI時代見据えた新校舎が高木女子に完成 来年には校名変更も / 神奈川
高木学園女子高等学校(横浜市港北区菊名7)内に10月31日、国産OS「TRON(トロン)」開発者として知られる坂村健博博士監修のIoT(モノのインターネット)化した新校舎が完成した。(港北経済新聞)

※11/6 Yahoo!ニュース (出展：港北経済新聞) <https://kohoku.keizai.biz/headline/2628/>

11/26には日経新聞の「18歳プラス」面にて「STEM教育で育てる多角的思考」という特集で掲載されました。